

授業に関する学生アンケートの 2011 年度結果

1. 授業アンケートの実施要領

1) 授業アンケートの対象科目

全ての授業形態（講義・演習・実験・実技・実習）の科目をアンケート対象とする。但し、受講者数 5 名以下の科目及び輪講・複数教員担当の科目を除く。また、対象科目の選定に関する担当教員の希望はとらない。

2) 実施期間

前期：平成 23 年 7 月 8 日(金)～7 月 28 日(木)
後期：平成 24 年 1 月 10 日(火)～1 月 28 日(土)

3) 授業アンケートの質問

授業アンケートの質問は別表（授業アンケートの質問）の通りである。

4) 集計方法・区分

アンケート結果の集計は以下の区分で集計する。

- ①授業科目区分別（全学共通科目、学部共通科目、学科科目、教職・資格科目）
- ②授業形態別（講義・演習・実験・実技・実習）
- ③受講者数別（6～20 人、21～50 人、51～100 人、101～200 人、201 人以上）
- ④担当教員所属の学部別
- ⑤担当教員所属の学科・一般教育別
- ⑥個人別

2. 授業アンケートの 2011 年度結果の概要

1) 全学の総評

2) 理工学部

- ①学部長による総評
- ②総合理工学科 物理学系
- ③総合理工学科 生命科学・化学系
- ④総合理工学科 機械工学系
- ⑤総合理工学科 電気電子工学系
- ⑥総合理工学科 建築学系
- ⑦総合理工学科 環境・生態学系

3) 人文学部

- ①学部長による総評
- ②国際コミュニケーション学科
- ③人間社会学科

- ④心理学科
- ⑤日本文化学科
- ⑥福祉実践学科

4) 経済学部

- ①学部長による総評
- ②経済学科
- ③経営学科

5) 情報学部

- ①学部長による総評／情報学科

6) 教育学部

- ①学部長による総評／教育学科

7) 造形芸術学部

- ①学部長による総評／造形芸術学科

8) 全学共通教育委員会

- ①全学共通教育 委員長による総評

授業アンケートの質問

質問	質問内容	
1	授業の目的・内容	授業の目的は理解できるものでしたか。
2		授業の内容は興味が持てるものでしたか。
3		授業の内容は理解できましたか。
4		授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
5		授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
6	授業の進め方	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
7		授業は分かりやすく構成されていましたか。
8		授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
9		授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
10		教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
11	授業の成果	使用された教材（教科書、配布資料、視聴覚機材など）は、授業の理解に役立ちましたか。
12		この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
13		この授業で、関連する分野に興味が持てましたか。
14		この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
15		この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
16	授業への取り組み	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
17		授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
18		授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
19		授業のマナー（私語・携帯電話・途中入退室をしないなど）を守りましたか。
20		あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。 1：90%以上、2：2/3を超える、3：2/3以下、4：回答欄無し
回答方法（得点） 質問 1～19	1. とてもそう思う（4点） 2. そう思う（3点） 3. あまりそう思わない（2点） 4. まったくそう思わない（1点）	

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

全学の総評

2011 年度（平成 23 年度）の全学の授業アンケートの結果は、昨年度と同様に、すべての質問項目で前期より後期の数値の方が高くなっている。また後期の場合、数値が 3.0 に満たないのは問 16 の 2.93 だけであり、全体的には高い数値になっている。

この結果は、学生の学修に臨む姿勢と教員の授業方法のいずれもが、後期に改善されたことを示唆している。さらに前期の場合も、数値が 3.0 に満たないのは問 5、問 15、問 16 および問 18 に限られており、全体的に高い数値を示していると言える。

全学の結果を前年度と比較してみても、後期はすべての質問項目で数値がより高くなっている。前期は問 4 と問 6 でわずかに数値を下げているが、ほぼ前年度並みであることを勘案すると、年度を通して前年度より良好な結果となっていると判断できる。

ただ個別に学科等の数値を見ると、数値そのものの水準は比較的高い位置にあるものの、対前年度比でむしろ後期の方が数値を下げている学科等が一部あり、今後ますますの改善が望まれる。そうした傾向のなか特徴的なのは、全学共通教育の場合であり、すべての項目で対前年度比の後期の数値の方が前期のそれより高くなっていることである。全学共通教育の場合、初年次生の受講が多いため、後期になると学生が大学教育に慣れて、それが学修全般に好影響を及ぼしていると考えられるが、これに関してはより精度の高い分析が必要である。

全学および学部学科等に共通して比較的低いのは、問 5、問 16 ならびに問 18 であり、これらの項目はシラバスの活用と学生の自主的な学修に関する項目である。このことは、今後より一層学生の主体的な学修を促すようなシラバスを作成する必要があることを示していると言える。

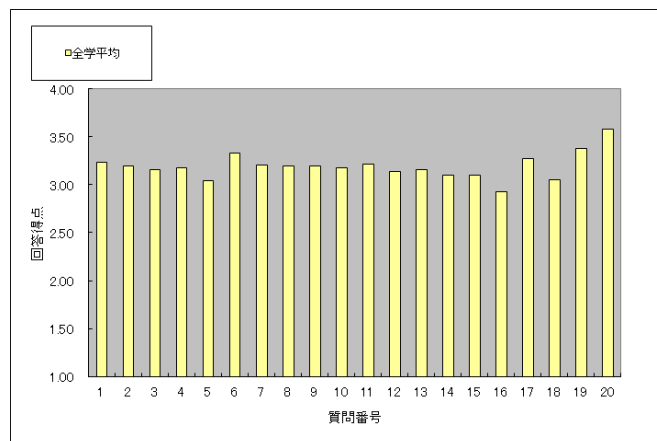
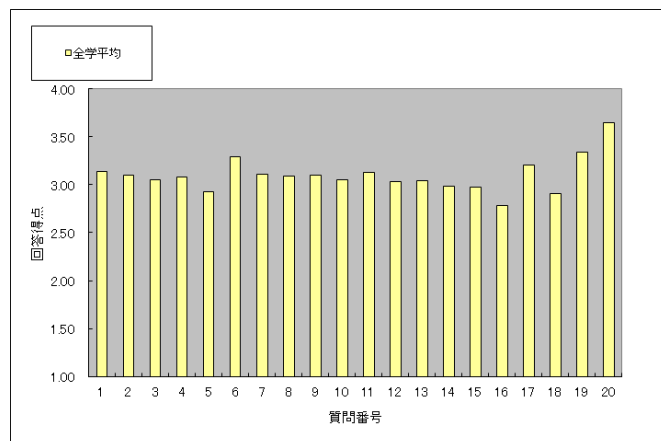
いくつかの学科等では、「授業の成果」に関する問 12、問 14 および問 15 の数値が比較的低いところがあるため、該当する学科等での改善努力が望まれる。

（全学 FD 委員会 委員長 服部裕）

【対象授業数・回答者数】

前期： 1579 件（対象件数） → 1491 件（実施件数） 実施率 94.4% 回答者数 46122
 後期： 1672 件（対象件数） → 1534 件（実施件数） 実施率 91.7% 回答者数 40769

【授業アンケート結果（2011 年度） 全学 平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持てましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室をしないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率などのくらいでしたか。

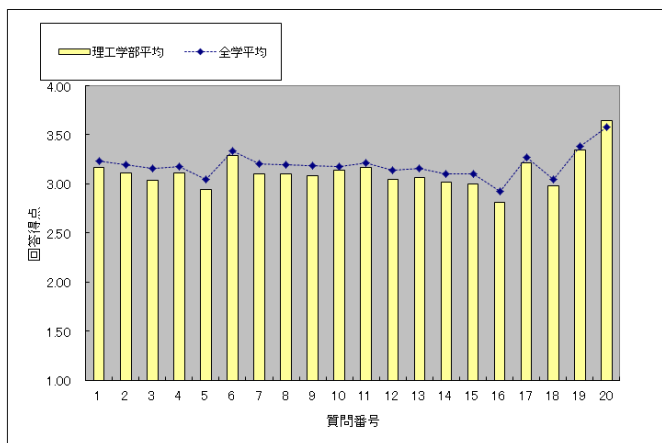
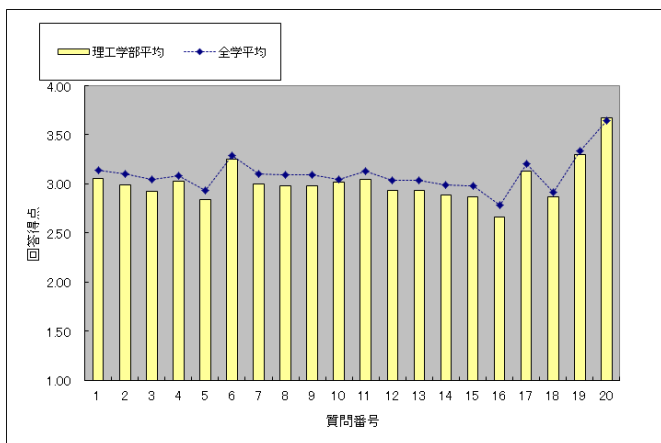
授業アンケートの2011年度結果の概要

理工学部 学部長による総評

学生の授業への出席状況や授業態度によると、多くの学生は真面目に授業に取り組む姿勢が見られ、教員の授業への取り組みについても概ね良好である。しかし、例年と同様にシラバスを見ない学生が多く、教員側から学生へのシラバスの積極的な開示とともに学生自らがシラバスを開き、前もって授業への対応を行う姿勢が望まれる。これは、学生個々の授業への興味や授業内容の理解の妨げになっていると思われるが、高校までの学びへの姿勢そして基礎学力不足が大きく影響しているとも考えられる。したがって、初年次教育では自主的学習を加味した一層の基礎学力向上を目指した教育を行い、学力差を少なくした上で、専門教育においては分かり易く教えるとともに興味を喚起し、自主的学習による発展的学習への意欲を高め、ひいては応用力を導き出す教育が望まれる。なお、一部の講義において、教員と学生との間での大きな認識の違いが見られ、該当する教員側の早急な授業改善が求められる場合もある。

(理工学部長 濱口和洋)

【授業アンケート結果（2011年度） 理工学部平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際シラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2	7	授業がわかりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方はわかりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞き進めましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・通行人入室をしない等)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

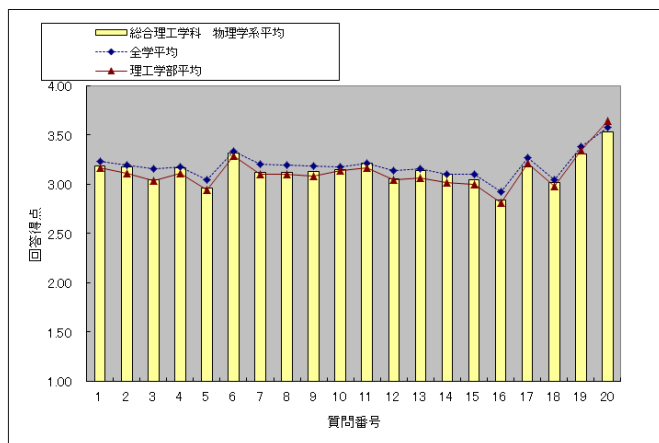
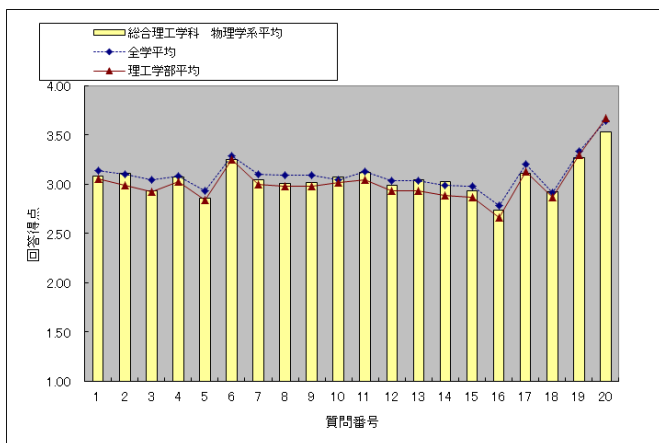
理工学部 総合理工学科 物理学系による総評

ほとんどの項目で理工学部平均を上回っている。しかし、全学平均に比べるとやや低いものが多かった。理工学部平均点に比べとくに高いもの (+0.1 以上) は、「関連する分野に興味を持てたか (前期のみ)」であった。下回ったものは、「集中して講義や説明を聞いたか」「マナーを守ったか」「出席率」であった。これらは学生の受講態度についてであり、学生の基本的なことなので改善が必要である。

また、全学平均に比べると低いものが多く、とくに (-0.1 以上)「出席率 (前期のみ)」であった。

物理学系全般的には、学生は分野に興味を持てたが、分かりやすい授業を望んでいることが分かる。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 総合理工学科 物理学系平均】 <左: 前期 右: 後期>



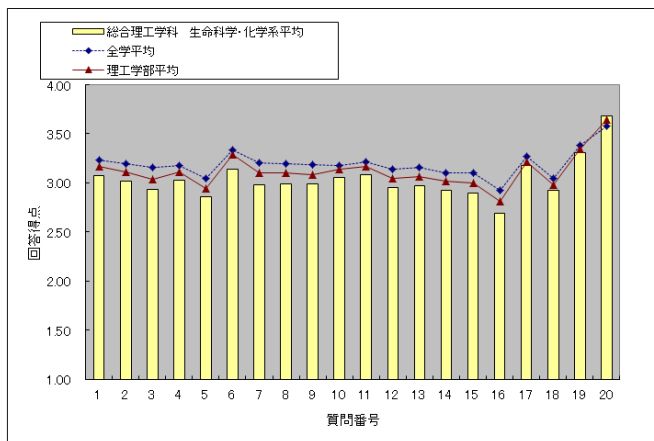
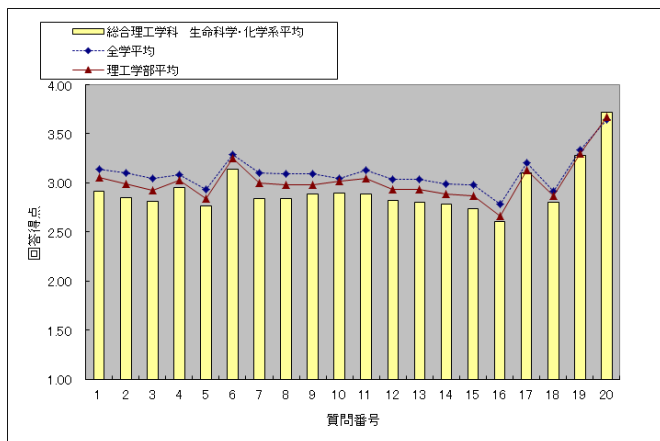
	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容に興味を持てたものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容を参考にしましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持てましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	授業に際し、シラバスを参照しましたか。
4	17	授業中は、集中して講義や説明を聞いたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・速中人混雑しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

理工学部 総合理工学科 生命科学・化学系による総評

質問 20「あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか」でのみ、評価平均値は前期 3.72 に対して後期 3.68 とやや減少しているが、他のすべての項目については前期と同じか、もしくは後期の方が大きな値 (0%~7%増) になっており、以下のように理解の進展があったものと考えられる。[授業の目的・内容] (質問 1~質問 5) に関しては、どの質問項目についても後期になると 2%~6%の増加をしている。前期と後期のカリキュラム配置にも依存するのかもしれないが、前期に比べて後期の開講科目は、応用的な内容になる傾向があり、受講生の具体的な興味を引き出すことになりやすいとすれば、増加するのは自然なことであろう。[授業の進め方] (質問 6~質問 11) では、平均値は後期で 4%ほど増加している。これらの中で、質問 11「使用された教材は、授業の理解に役立ちましたか。」は 7%増加しており、後期になって授業の理解が進むとともに、教材活用も進んだことを反映したものと解釈される。[授業の成果] (質問 12~質問 15) は後期で平均 5%増加している。決して大きな数値とは言えないが、成果が得られていると感じる学生の増加を反映していると解釈される。[学生自身の[授業への取り組み] (質問 16~質問 20) では、平均値の増加は 2%に留まっている。学生は自身の状況を正直に回答しているのであろう。質問 18「授業時間以外にも、自主的な学習や準備に勤めましたか。」は後期で 5%増加していて、高い数値とは言い難いが、平均値を押し上げる役をしている。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 総合理工学科 生命科学・化学系平均】 <左: 前期 右: 後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2 授業の進め方	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あななが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4 授業への取り組み	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話、途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

理工学部 総合理工学科 機械工学系による総評

学生が受講する際に、授業内容を記述した「シラバス」は学系科目を修得する上で必要不可欠である。受講に際して「シラバス」を理解しないまま出席している学生が多く見られる。昨年度よりは上昇しているが、改善の余地がある。

授業の進め方については、開始・終了時刻は正確に進行し、授業中の教員への質問はある程度積極性が見受けられる。また、使用された教材や配布資料は授業内容の理解に役立っているようである。

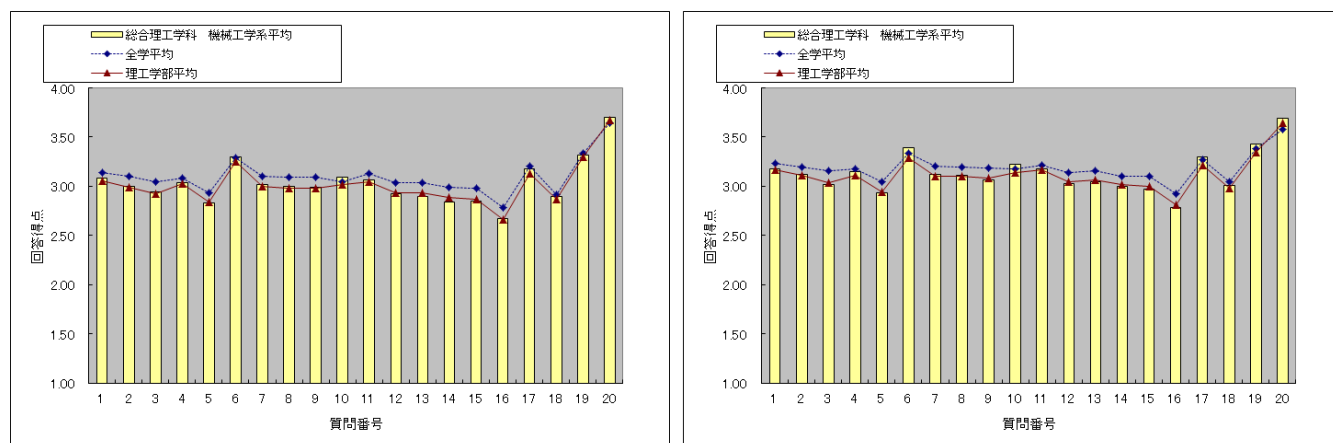
授業の内容を理解して更なる関連する分野への興味や発展的理解は少ないので、各学年に担当されている実験・実習科目との関連を意図して、機械工学全体を系統的に教育すると共に理解する能力の涵養が必要である。

学生が授業内容を理解する上で、学生の講義時間外における自主的な学習への取組みが必要であるので支援方法を模索するとともに、次回の授業内容を意識した課題の提示を行ななどの工夫が必要である。

したがって、(1)使用する教材や配布資料及び教授法の工夫、(2)特に、力学や数学の基礎学力の涵養、(3)「シラバス」の内容の充分な説明、(4)他の機械工学専門分野との関連の理解、(5)専門科目の知識の涵養を意図した実験・実習科目の充実、(6)実社会での応用例を意識させる等が必要であると考えます。

新カリキュラムは、プロジェクト I～VI、理工実験実習 I・II、機械工学系基礎実験 I・II、機械工学系実験 I・II などが開講されているので、専門科目(座学)の理解と双方型授業に役立つことを期待している。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 総合理工学科 機械工学系平均】 <左：前期 右：後期>



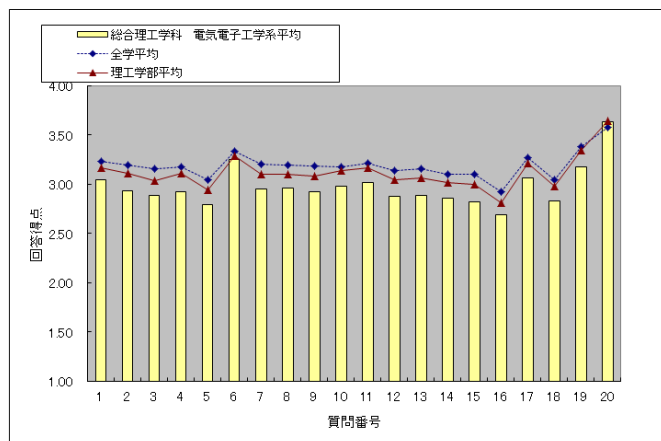
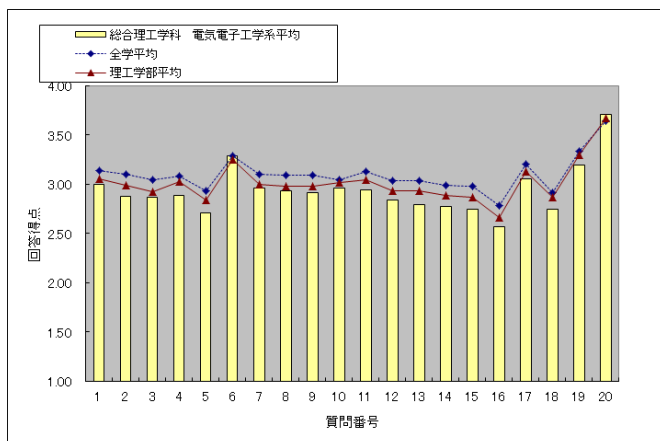
	質問番号	質問内容
1 授業の 目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考にになりましたか。
2 授業の 進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視覚教材等)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の 成果	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4 授業への 取り組み	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のテーマ(電話・携帯電話・定入道室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

理工学部 総合理工学科 電気電子工学系による総評

(1) 回答得点： 全般的に得点が 3.0 近辺である。特に、“授業の成果”に関連した得点は低い。一方、“授業の目的・内容”“授業の進め方”に関連した得点は比較的高い。(2) 自由記述： 回答は少ない。記述の中で、私語が多く授業に集中できないという指摘が依然としてある。パワーポイントの使い方(照明等)や板書の文字の大きさについての要望がある。(3) 学部平均との比較： 学部平均と比較して、得点が 0.1 ポイント程度低い。ただし、「6:授業の開始・終了時刻」「20:出席率」は高い。(4) 特定の質問項目に対する評価：“授業の進め方”に関連して「7: 分かり易い構成」、「8: 分かり易い説明や話し方」、「9: 理解しやすいペース”、“授業の成果”に関連して「14: さらに発展的に学びたいと思ったか」、そして“授業への取り組み”に関連して「18: 授業時間以外に自主的な学習・準備に努めたか」に注目し、授業内容・方法の改善を図ってきた。しかし、なかなか効果的な施策を見出せないでいる。(5) 授業改善へのフィードバック： 学系内で大きな議論となる点は「学力および学習意欲における受講生間の差の大きさ、それを如何にして克服するか?」である。差が大きいために、全ての受講生にとって満足のいく授業を実現することは難しい。体験的なプロジェクト科目を中心に学習意欲を高めていく。(6) 今後の課題： 少しでも多くの学生が良かったと思えるような授業にすることを目指し、今後も 学系一丸となつての改善を進めて行く。学生の学ぶ意欲に火をつけるような授業が課題である。また、高い学習意欲のある学生が満足できる授業や資格取得等の仕組みの構築も課題である。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 総合理工学科 電気電子工学系平均】 <左: 前期 右: 後期>



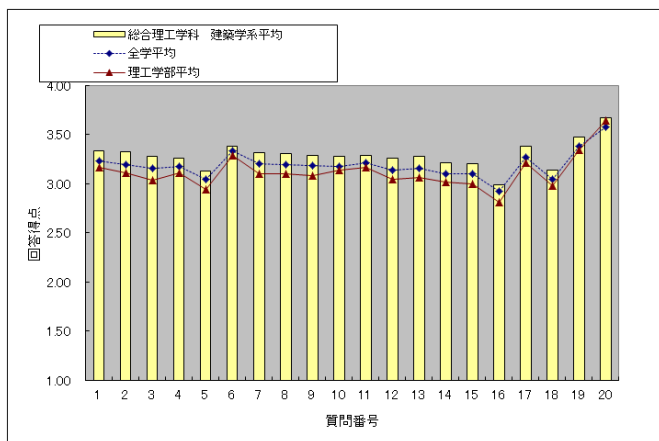
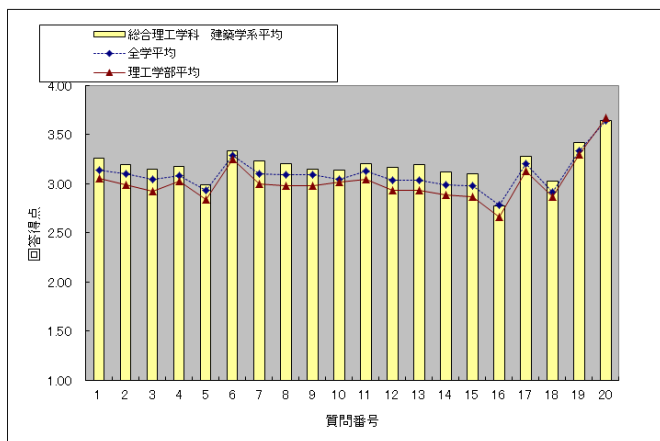
	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2 授業の進め方	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	授業に際し、シラバスを参照しましたか。
4 授業への取り組み	17	授業中は、集中して講義や説明を聴きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・速中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

理工学部 総合理工学科 建築学系による総評

全般的評価結果は、前期、後期ともほぼ同様の傾向を示している。また、前年度との比較でも傾向は類似している。全学平均と理工学部平均を一つの指標とするならば、本学系の得点は20項目すべてでこれらの指標を上回るか同等である。前期と後期の比較では、後期が全体として前期を上回っているが、この傾向は前年度とおなじであり、また全学平均と理工学部平均にも同様の傾向がみられるので、これは1年が終わることへの学生の心理状態の結果と思われる。20項目の中では、1～3と12～15が授業内容の評価としてとくに重要であるが、これらがすべて平均を上回っていることは各教員の努力の結果であろう。10「教員との質疑応答や討議の機会がありましたか」と18「授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか」に対して「あまりそう思わない」という学生の数が他の項目より多いことは改善の目安のひとつである。自由記述欄は、記述する学生が多くはないが重要な声もあり、なるべく記述させることが教員にとっても参考となると思われる。

【授業アンケート結果（2011 年度） 総合理工学科 建築学系平均】 <左：前期 右：後期>



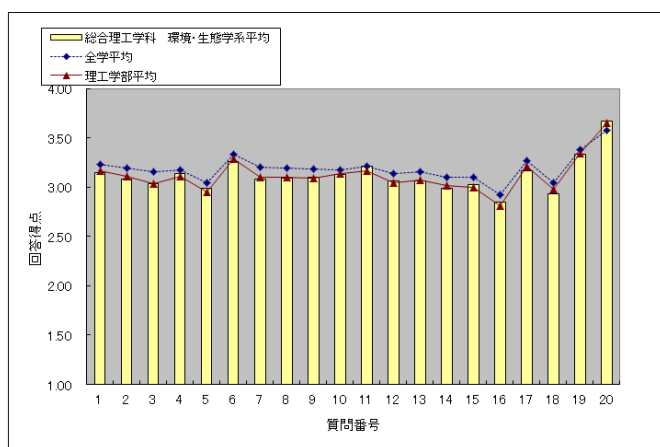
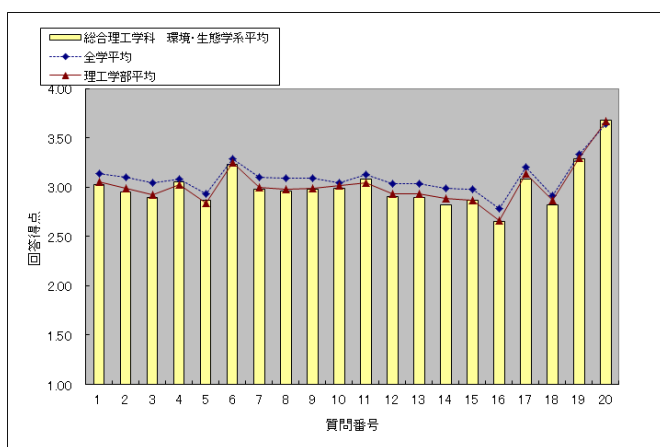
	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味が増えましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	授業に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・速中入室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

理工学部 総合理工学科 環境・生態学系による総評

質問項目中、学生の「授業への取り組み」に関わる「16:受講に際し、シラバスを参照しましたか。」と「18:授業時間以外にも自主的な学習や準備に努めましたか。」の二つの項目の評価が特に低い。これは過去数年間、継続して見られる傾向である。このこととも関連し、当学系では、JABEE 基準に照らし、授業時間外の予習・復習を学生に十分に促すことを学力向上に向けた優先課題と位置づけてきたが、その成果は未だ十分とは言い難い。宿題・レポート等の自習課題を充実させることに加え、シラバス内に毎回の授業の予習項目等も記載し、シラバスを予習・復習とも関連づけ日常的に活用するよう動機付けるなどの更なる工夫・改善が必要と思われる。また、「授業の成果」に関する項目のうち、「14:この授業でさらに発展的に学びたいと思いましたか。」の評価もやや低い。講義等で得られた知識を実社会でどのように応用していくことになるのかをより明確に説明し、発展的学習への意欲を高めることが必要と考えられる。

【授業アンケート結果（2011 年度） 総合理工学科 環境・生態学系平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4 授業への取り組み	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話・速中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

授業アンケートの2011年度結果の概要

人文学部 学部長による総評

2011年度の人文学部における授業評価についてのコメントは以下の3点である。

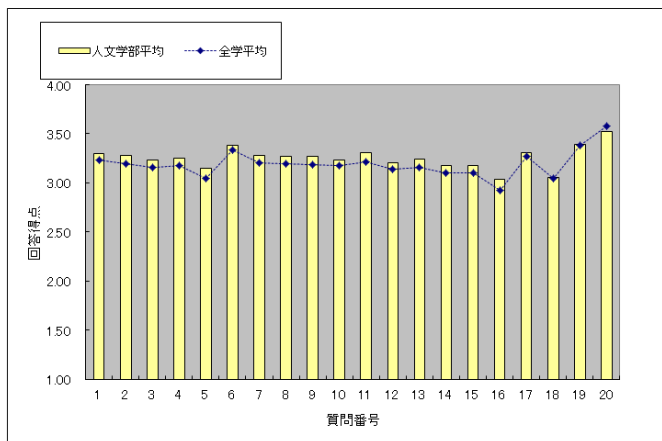
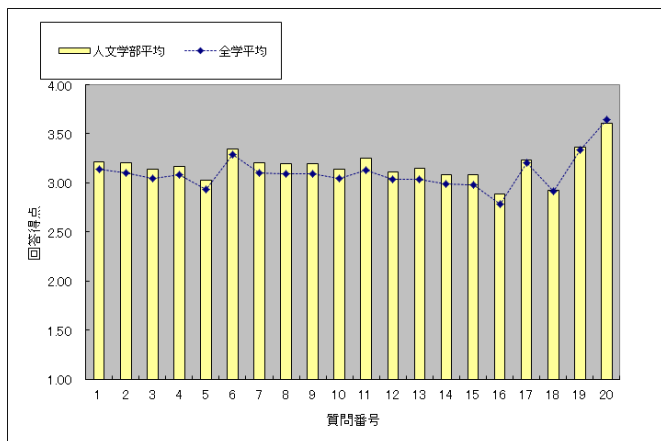
- ・他学部との比較では、人文学部は全20項目中19項目で、もっとも高い平均値を示している。特に、「授業への興味」「理解」「わかりやすさ」「知識技能の獲得」などの項目で学生の評価が高いことは、人間と社会に対する専門的教養を身につけることを目的とする人文学部として、評価に値する。これまでの学部教員の授業改善に対する努力を多としつつ、いっそうの授業改善の取り組みを期待したい。

- ・人文学部は5学科を擁するが、各学科への学生の評価は一様ではない。学部平均と比較すると、3学科が高く2学科が低い。昨年と同様の傾向が見られる。学問特性もあるので、学生による評価をそのまま鵜呑みにすることはできないが、今後は、学部内でそうした差異が生ずる原因について意見交換しつつ、各学科の授業改善の取り組みが促進されることを希望する。

- ・講義に比較すると、演習等の授業は平均値が高い。クラスサイズが小さく、教員と学生との距離が近いことも影響していると考えられるが、現状で満足せず、学生の学びを刺激するより多彩で柔軟な演習スタイルが模索されることを期待したい。

(人文学部長 垣内国光)

【授業アンケート結果（2011年度） 人文学部平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を修習する際にシラバスの内容を参考にしましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
3	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材等)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
4	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のアンケート(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

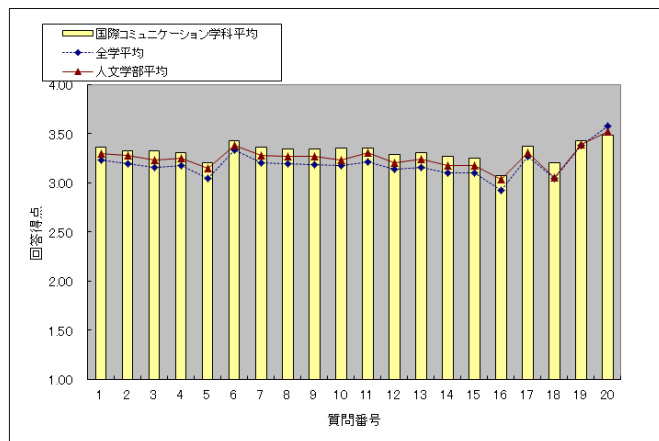
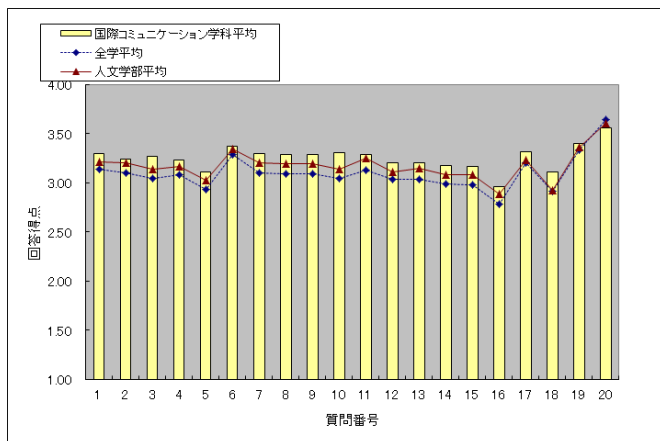
人文学部 国際コミュニケーション学科による総評

今年度も本学科の授業アンケート結果は、総体的に平均を上回るものであった。本学科のカリキュラムはフィールドワークや留学など体験授業を中心に組まれていて、このような参加型の授業形態が満足度の高さに繋がっているものと思われる。また、学科説明会やオープンキャンパス、学科の学会等、授業外のイベントでも積極的に学生を登用、そうした日頃の交流によって教員と学生の距離が近くなっていることも高い評価の要因になっていると言えよう。本学科では各教員の指導・教育意識が高く、問題点があれば組織的に対応できる行動力もプラスに作用していることを附言しておく。

昨年度と同様、質問 16 のシラバス参照の得点が低いのが、シラバス電子化の影響が大きいと思われる。他学科でも同様の傾向が見られるので、学科というよりも大学の課題として認識すべきである。尚、本学科としては授業初回に別途シラバスを配布、ミニ・ガイダンスを行うなど、学生に教育方針を開示する対策は講じている。質問 20 の出席率も、全学平均を下回っている。しかし、出席しない学生のほとんどは授業満足度とは関わりなく欠席しているので、対策が難しいのが現状である。

以上が総評であるが、今後どのようにしてこの高い授業満足度を実践力へとさらに直結させ、学生個々のキャリア形成に繋げていくか、ということが課題となるであろう。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 国際コミュニケーション学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容を参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2 授業の進め方	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思えましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4 授業への取り組み	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話・速中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

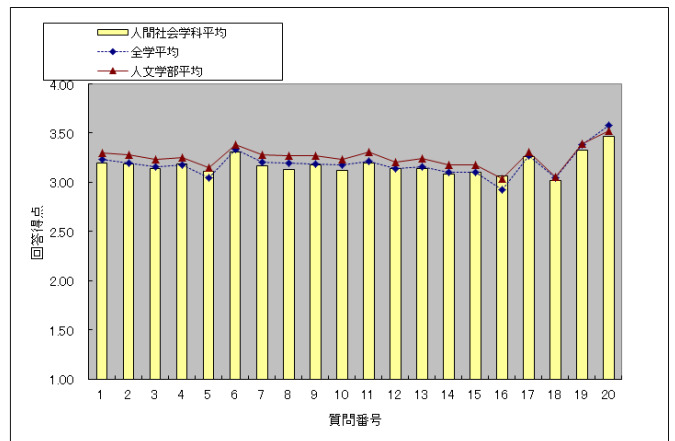
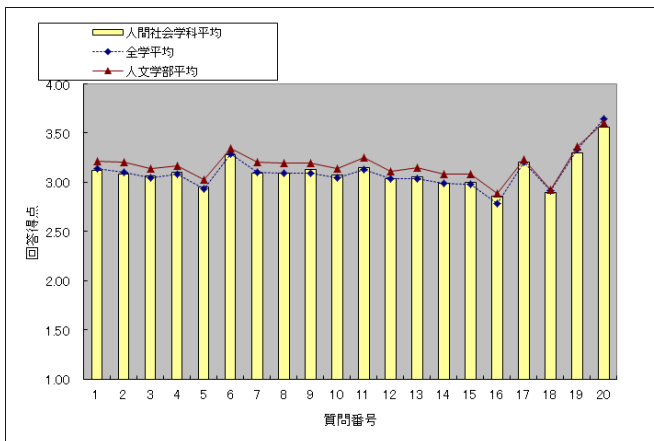
人文学部 人間社会学科による総評

項目毎に学科平均で概観すると、20項目のうち、3項目を除くすべての項目において、得点は3.00以上であった。カリキュラム趣旨の下、各教員が担当科目の目的、内容、進行に関して改善に取り組んだ結果と考えてよいだろう。但し、得点の低い3項目のうちの2項目が、「受講に際し、『シラバス』を参考にし、参照したか」に関するものであったことに留意しておきたい。この点に関して、学科学生の受講態度を見定め、それへの対応をシラバス内容及びその構成の改善、工夫への努力が求められていると受け止めたい。そのひとつとして、年度当初の学科履修指導における反省と工夫と考える必要があると考える。特に学習においてシラバスとは、どのような内容を持ちその重要性は何処にあるのかについての理解を学生一人ひとりに獲得してもらえよう努めたいと考えている。加えて、年度当初のガイダンス日程及びweb閲覧、登録の手順に関して学生がシラバスにアクセスしやすい全学的な環境整備についての検討が必要と考える。

いまひとつ得点の低い項目－「授業時間以外にも自主的な学習や準備に努めましたか」については、学科として各年次における少人数による学習＝ゼミでの教育研究活動をカリキュラムの中心と考えているが、それが十分には機能していない結果として受け止め、今後のゼミ教育研究の改善に結びつけたいと考えている。

今後とも、学科として、専門的研究の成果を踏まえながら、学生のニーズに配慮したカリキュラムの整備、充実に努めてゆきたい。

【授業アンケート結果（2011年度） 人間社会学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容を参考にしましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分りやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分りやすいものでしたか。
	9	授業のペースは自分や理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4 授業への取り組み	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

人文学部 心理学科による総評

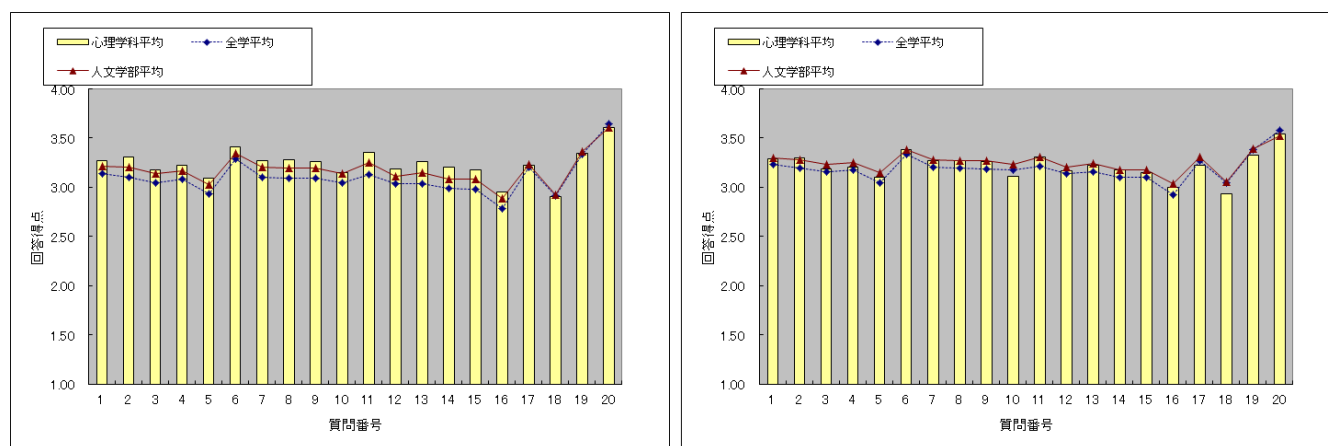
全 20 項目の内、「学生自身の授業への取り組み」に関する 2 項目（問 18 と問 16）を除く、すべての項目において、得点は 3.00 以上であり、「授業の目的・内容」、「授業の進め方」、および「授業の成果」に関しては、心理学科の授業は総じて高い評価を得ていると考える。

項目 18「授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか」（前期 2.90；後期 2.93）に関しては、基本的には学生の自覚によるものであるが、教員側としても、予習や復習、宿題などの課題の提示の仕方を工夫し、授業時間を補完する教授方法を吟味していくことが望ましい。

項目 16「受講に際し、シラバスを参照しましたか」（前期 2.95；後期 3.00）に関しても、基本的には学生の自覚によるものであるが、教員側も、シラバスの内容の改善に努めるとともに、シラバスの重要性と意義を学生に周知させる必要があるだろう。また、シラバスの開示から履修登録までに、学生がシラバスを熟読し、自分に必要な授業を間違いなく登録できるような充分な時間的余裕をとっておく必要もあるだろう。なお、このような教員および大学側の工夫は、項目 5「授業を受講する際にシラバスの内容が参考になりましたか」の評価に反映されることになるだろう（心理学科では、前期・後期ともに 3.10）。

受講生数の多寡、講義や演習など授業形態の違いなどを考慮しない授業全体の平均値で考察できることは以上である。クラスサイズや授業形態によって、授業で必要とされる内容や方法も異なるので、授業形態ごとに、個別に吟味し、授業の改善につなげていくことが必要である。

【授業アンケート結果（2011 年度） 心理学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味が持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業はわかりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方はわかりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3 授業の成果	11	提供された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つようになりましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4 授業への取り組み	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

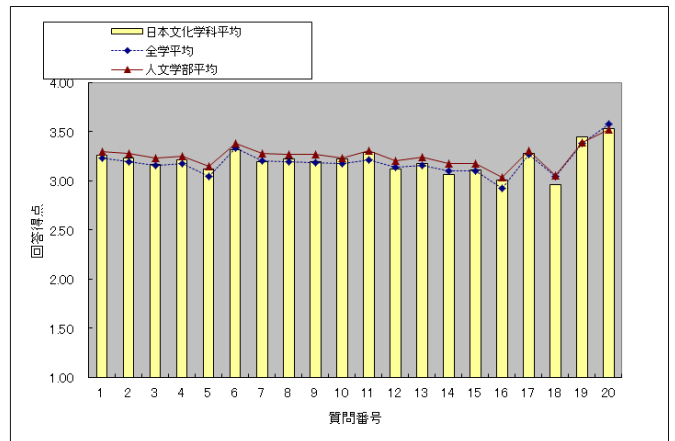
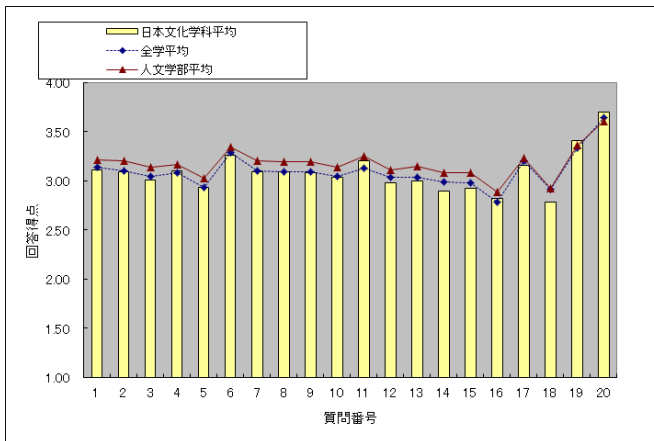
授業アンケートの 2011 年度結果の概要

人文学部 日本文化学科による総評

日本文化学科の授業アンケートに基づく評価は、例年そうであるように、本年度もおおむね高いと言ってよい。とりわけ、前年度である2010年度と比較すると、前期授業における評価が高くなり、年間を通して安定した評価を示すようになったと言える。それでもなお前期後期の間には若干の差異が認められるが、総じて後期に評価が高まるのは、それぞれの開講期の科目による違いというよりも、全般的に学科の指導が浸透してきた証と見てよいだろう。もちろん、個々の教員の努力も影響しているはずである。それと同時に、アンケートに回答する学生の成長という視点も押さえておきたい。

アンケートのそれぞれの項目について一つ一つ言及することにも一定の意味があるが、それらの差異はわずかである。本質的に授業アンケートは、授業担当教員がその結果をしっかりと受け止め、絶えざる改善に努めるためにある。改善の方法は多様である。技術的な面での改善もあれば、授業手法の変更による改善もある。さらには、改善の結果が見えにくい場合も少なくない。数値に左右されることなく、緊張感をもってそれぞれの授業を担当することが肝腎であるとする。

【授業アンケート結果（2011 年度） 日本文化学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3 授業の成果	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味が増えましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思われましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4 授業への取り組み	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

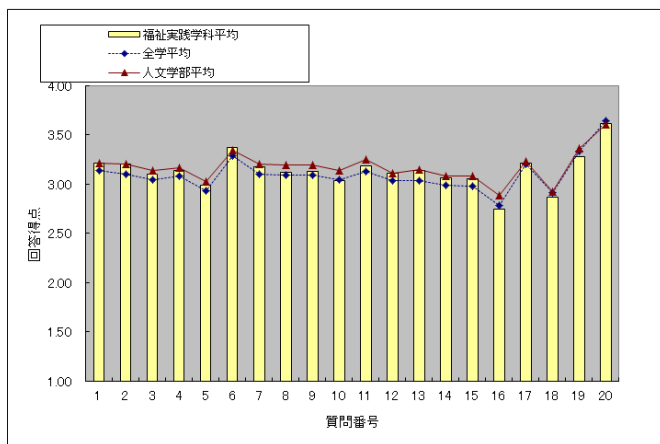
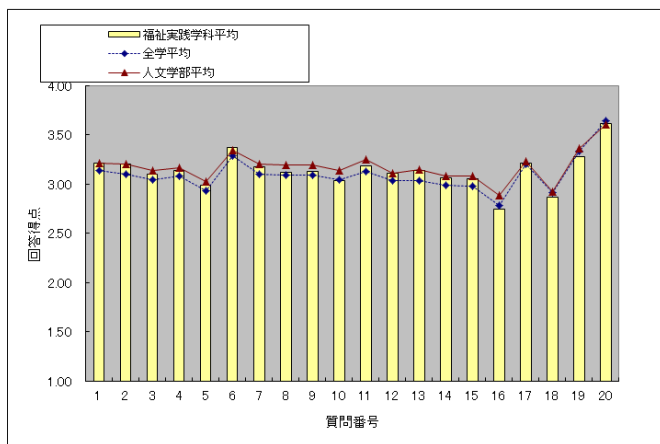
授業アンケートの 2011 年度結果の概要

人文学部 福祉実践学科による総評

全体的に見て学部平均全学平均を大きく上回っている高い評価が得られている。これは、社会福祉の実践的な視座を獲得するために、実践的・体験的な授業を数多く設け福祉の理論を、単に机上の理論として学ぶのではなく、実践的なものとして認識を深めるために、多様なカリキュラムを体系的に構成していることの結果としてもたらされたものだと考える。講義の内容や、組み立てについても、ゼミの運営方法についても学科内で経験を持ち寄りより学生にとって満足度の高い授業をいかに提供するかについて検討を重ねている。

今後の方向性としては、学生が授業に主体的に参加できるような形式の講義を如何に準備するかを模索していきたいと考えている。

【授業アンケート結果（2011 年度） 福祉実践学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	実演に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聴きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

授業アンケートの2011年度結果の概要

経済学部 学部長による総評

授業アンケートの全学集計結果と経済学部のそれを比較すると、学科により多少程度の差がある。平均的に経済学部教員の集計結果の指標は、項目の1～3、6～10、12～15の項目について全学集計結果の平均を0.05～0.07ポイント程度下回っている。現時点において、授業アンケート調査の結果得られた指標の数値の大小は、教育効果や授業内容の善し悪し、さらには、改善すべき点があるか否か、あるとすれば改善すべき方向はどこに求められるか、等を示すような指標でないことは理論的に明白である。こうした授業アンケートの仕方と内容の改善は急務であるが、現在、大学の全学教務委員会に置いてその改善案が作成されつつある。

授業アンケート結果の数値を全学平均値と比較すると、経済学部所属学生の特性を示す分布であるとの印象を与える。その意味で、授業方法や授業内容が異なっている経済学科と経営学科における授業アンケート集計結果の数値分布がこれらの学科間で非常に似通った分布になっている理由として、経済学部に入学者が両学科で殆ど同じ特性を持つことが挙げられるのではなかろうか。

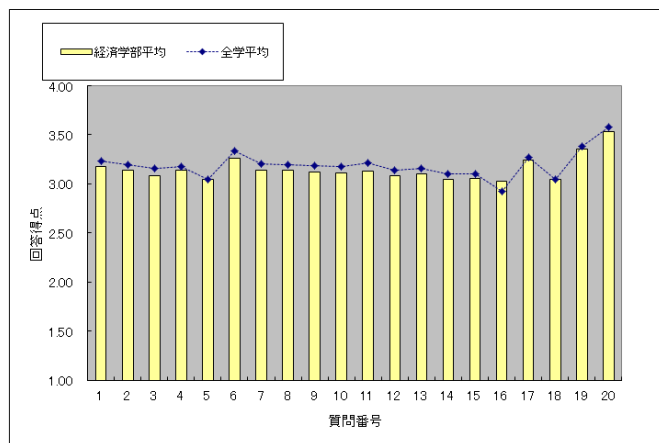
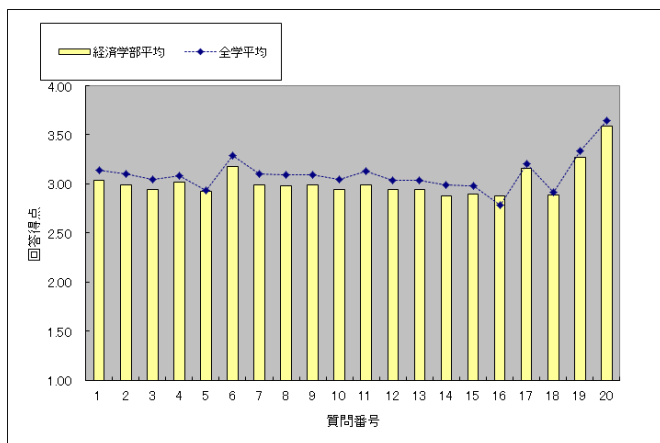
授業アンケートの今後の課題として、つぎの点に関する探求と分析の必要性を本年度も指摘できる。

- (1) 大学教育における授業の改善とは何か、何をもって授業の改善とできるか、についての検討。
- (2) 授業アンケートの内容、および質問項目と指標の大小の解釈の正当性に関する検討。
- (3) アンケート回答者の特性（基礎学力の実態、入試区分、入学後の成績、出席率等）と解答指標の相関関係の分析とその解釈に関する検討。

このような検討や分析を実施するためには授業アンケートの実施方法の改革が求められることは言うまでもない。つまり、アンケート回答者の特性が不明であるようなデータの収集では上の検討は不可能である。個々の学生が直接にコンピュータ端末から授業アンケートに回答できるようなシステムの構築が必要であろう。

(経済学部長 山崎昭)

【授業アンケート結果（2011年度） 経済学部平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味が続くものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際シラバスの内容は参考になりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3 授業の成果	11	使用された教材(教科書・配布資料・視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4 授業への取り組み	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・通中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

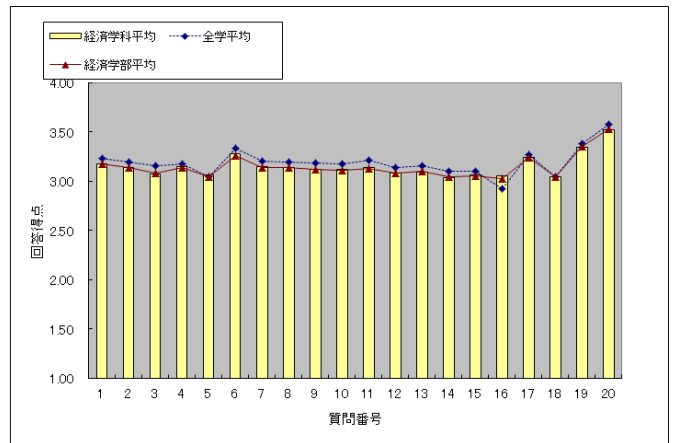
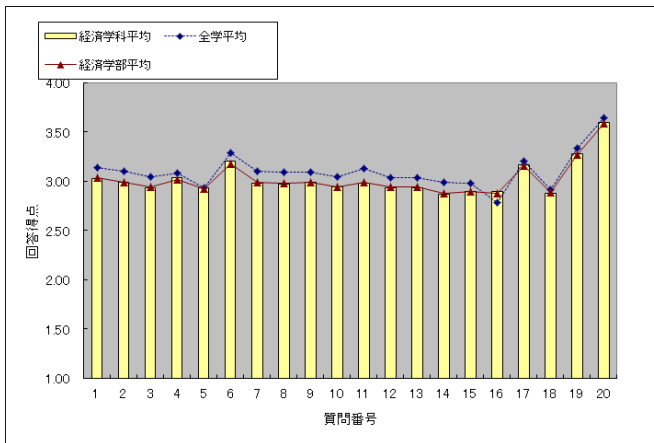
経済学部 経済学科による総評

授業アンケートの全学集計結果と経済学科のそれを比較すると、際立つのは、経済学科学生の学習意欲が総じて低いという点である。特に、授業内容が理解できない学生の比率が全学平均に比してかなり高い。このことは、学生の主体的な学習意欲の向上に資する授業のあり方に係る課題が提起されたものとして受けとめられよう。

教員個々の評価においては、教員によるバラツキはもちろんあるが、総じては講義科目よりも演習関連科目における評価の方が高い評価点となっている。これは、受講生数と科目選択時の問題意識の違いによるものであろう。その他では、私語対策、板書の仕方、一方通行になりがちな講義などが問題点として提起されているのが目につく。これらについては教員個々が真摯に受けとめており、さらなる授業改善が期待される場所である。

なお、教員個々のコメントにおいて、評価結果をみる限り学生が真剣にアンケートに答えているとは思えない、とする答が散見されたということを付記しておく。つまり、どの学生層を対象としてアンケートを実施するのか、またどの時期にアンケートを実施するのが課題として残るということであろう。

【授業アンケート結果（2011 年度） 経済学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3 授業の成果	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味が増えましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4 授業への取り組み	16	実習・演習、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

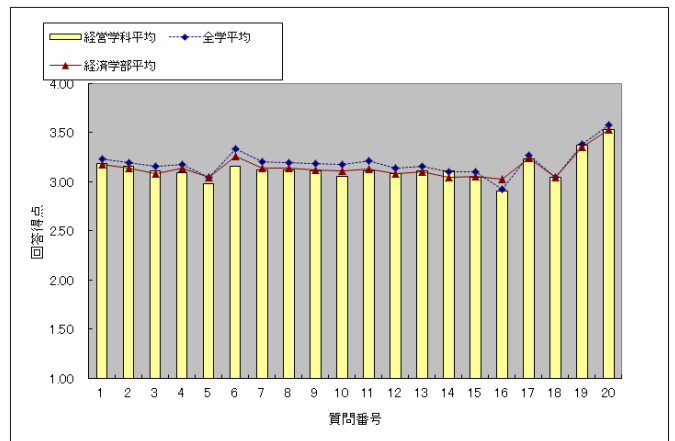
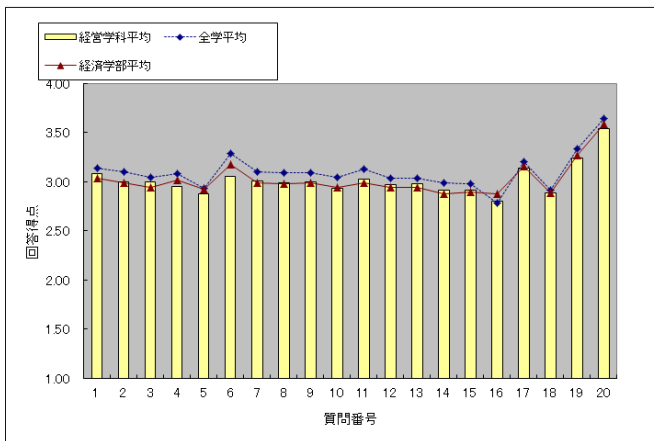
経済学部 経営学科による総評

前期、後期とも学生による授業評価付値の学科平均は概ね良好ではあるが、後期の方が明らかに高い評価を受けている。評価項目数 20 のうち、3.0 以上の評価を得た項目数は前期：10 項目、後期：18 項目、であった。

シラバスに関する評価値が前期・後期ともに他の評価項目に比べて低い傾向が見られる。質問は、(Q4)シラバスに沿った授業内容か、(Q5)そのシラバス内容は参考になったか、(Q16)シラバスを参照したか、である。特に(Q16)シラバスを参照したか、に対する評価が低く、前期後期とも調査項目中最低の評価値であった。2010(平成 23)年度から印刷体としてのシラバス集を個々の学生に配布しないようになった。従って、学生は WEB サイトから参照しなければならない。もっとも経営学科では学科科目についてのみ印刷体で配布してはいる。学生がシラバスを参照するための事情を勘案して、設問内容を再考する必要がある。

教員と学生にとって「授業の進め方」と「授業の成果」は最も関心が持たれる項目である。これについて見てみよう。質問はそれぞれに 5 問である。2010 年度でもっとも低い評価をマークしたのは、前期：「授業の進め方」では Q10:教員との質疑応答や討論の機会 (2.93)、「授業の成果」では Q15:期待がみたされたか (2.89) であった。この傾向は 2011 年度前期も同様で、それぞれ 2.94 と 2.91 である。また、2011 年後期においても同様に Q10 (3.06) と Q15 (3.04) が最も低い評価であった。一方的な講義でインタラクティブな授業が少ない、従ってそのような授業に対する不満として授業への期待が満たされない、ということか。授業の内容もさることながら、授業のあり方にもっと工夫が必要であると感じられる。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 経営学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味が持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業がわかりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方はわかりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
3 授業の成果	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思えましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4 授業への取り組み	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

情報学部 学部長による総評

情報学部情報学科は、2005 年度から新しい学科としてスタートし、2010 年度からは、1 年生はコース別に配属せずに共通化することにより、より基礎的な科目を習熟度別にクラス分けを行い少人数教育を行うことにしました。

専門科目に関しては、専門基礎科目(2 年生)、高度の専門科目(3 年生)として2 年生から専門科目に取り組むようにしました。また、カリキュラム・チェーン(科目の連結)を行ってそれらの科目を履修していけば、高度の専門科目が習得できる履修モデルを示し、高度の専門科目の前に専門基礎科目を配置するようにしました。さらに講義中心の専門科目に対し、それに基づく実験などの体験科目をフィードバックさせることにより、講義と体験による効果的な習得を目指しています。この間、学生による授業に関するアンケートを、毎年、前期・後期の 2 回実施し、毎年のアンケート結果を次年度の授業改善につなげています。

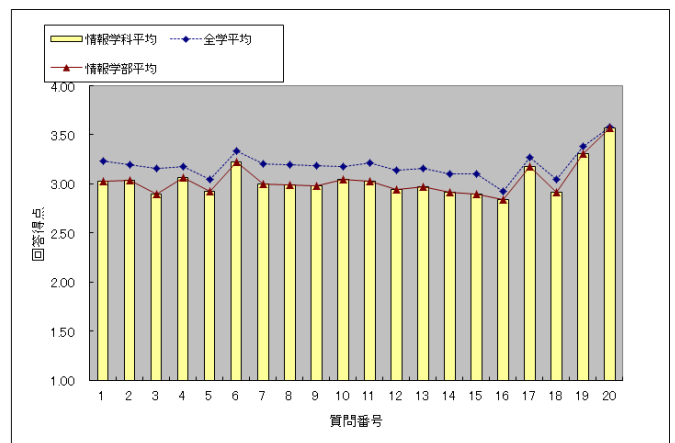
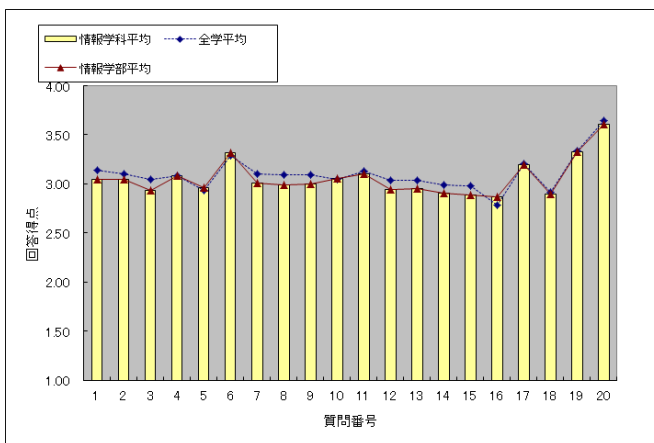
ここには 2011 年度に関する結果を公表していますが、学生からのアンケートを分析しますと、数学系、プログラミング系の科目で、「授業の内容が難しいものがある」などの意見が見られます。これらの科目については、科目合格率からも同様の傾向がみられるため、学生サポートセンターのリメディアルにくわえて、「寺子屋」による補習や実習指導員の配備により、習得率の向上に取り組んでいます。

(情報学部長 蓮池和夫)

情報学部 情報学科による総評

実習演習科目においてはおおむね学生の満足度は高く、授業の工夫に対して効果があったと考えられます。しかし、2010 年度と比較してすべての点でポイントの低下傾向に課題があります。特に教員が授業に関して細かく学習の達成目標や授業進行の内容についてシラバスに記述しているにもかかわらず設問 1、2 に見られる結果は残念なものです。授業以外にも自主的な学習や準備が行われていない点については、シラバスの熟知とそれに対応する受講態度など学生に更なる学習意欲の喚起に勤めたいと考えています。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 情報学部 情報学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を修習する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的の知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思われましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・通行人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

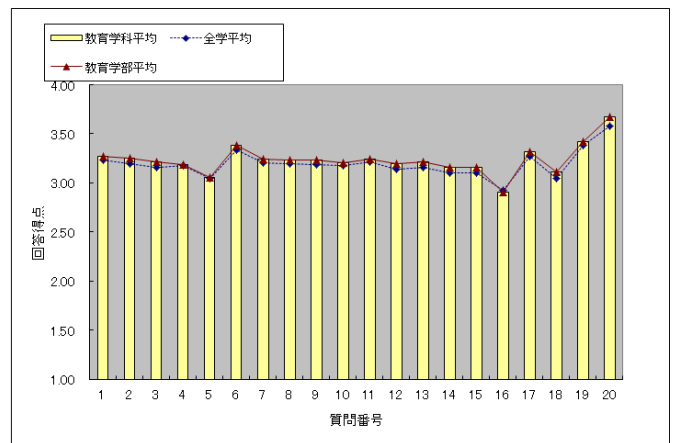
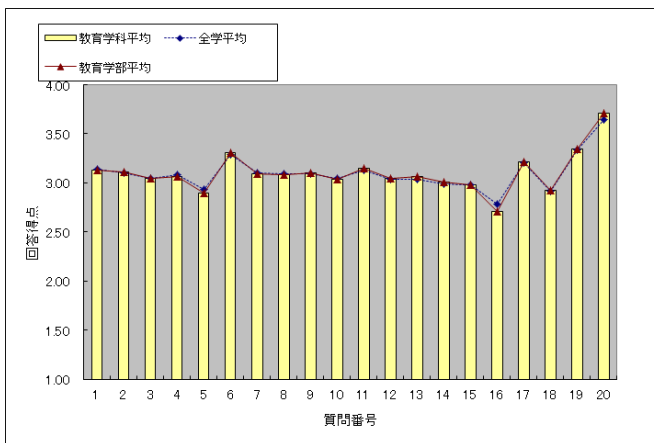
教育学部 学部長による総評

教育学部／教育学科の授業アンケート結果の特徴的な点は以下のとおりである。

- *回答得点は、前期と後期で差がなく、ほとんど同じ傾向を示している。
- *得点が 3.00 を下回ったのは、前期の、質問項目 5、16 であり、後期は 16 の 1 項目になっている。後期の 5 は 3.00 を少し上回る程度であり、したがって共通して比較的点が低かったのは、「5. 授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか」、「16. 受講に際し、シラバスを参照しましたか」の 2 項目といえる。このことは、シラバスが十分に活用しきれていないことを示している。
- *シラバスは、授業内容、目的、目標等をあらかじめ学習者に示し、そのうえで、授業に臨むことが期待されているものである。学習者にシラバスを周知徹底させることを教員側が積極的にすべきであろう。一方で、教員側には、明確でわかりやすいシラバスを作成することが求められている。
- *シラバス以外で、3.00 をわずかに上回った項目は、前期の「14. この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたが」、「18. 授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか」である。授業に対する姿勢、意欲に関する重要な点であり、教員側は学生を指導する必要がある。ただし、後期はいずれも、前期を上回る結果となっている。
- *20 項目全体を見ると、全項目が全学平均とほぼ同じ分布の傾向を示している。20 項目は「あなたの授業への出席率はこのくらいでしたか」であるが、教育学部／教育学科の学生の出席率が高い状況を表しているといえる。

(教育学部長 佐々井利夫)

【授業アンケート結果 (2011 年度) 教育学部 教育学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的の知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたが。
4	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室など)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

造形芸術学部 学部長による総評

造形芸術学部・造形芸術学科の「授業評価」は毎年全学より若干高い傾向がある。やはり実技科目主体のカリキュラム構成に原因はある。“モノづくり”に関する授業評価はさらに高く、“情報加工”に関する科目は低い。“モノづくり”に関する授業が実際の成果物を媒介とするため、教員も学生も理解度や目標到達度の掌握が明解で、的確な教育指導が行えるからである。これまで「授業改善のためのFD研修会」を通して授業改善に努めてきており、学科科目全体としては前年度より若干改善をみている。今後、一層の改善をめざすためには、さらに継続的な協議と意見交換が必要と思われる。以下に具体的な改善・検討点を示す。

- (1) 学生気質の変化に対応したカリキュラム構成と教育方法について、学科内で継続的な協議と改善が必要である。
- (2) 専任教員と非常勤講師間での評価の差は、一部に依然としてあり、学科科目を担当する全教員による継続的な共通認識の保持・研修が必要である。
- (3) 1年生のみ日野校で履修する形態で、専任教員が1年生と接する機会は依然として少なく、引き続き対応方法を講じる必要がある。

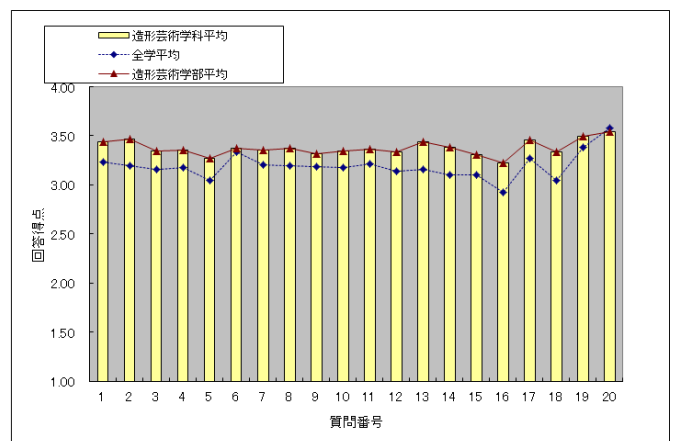
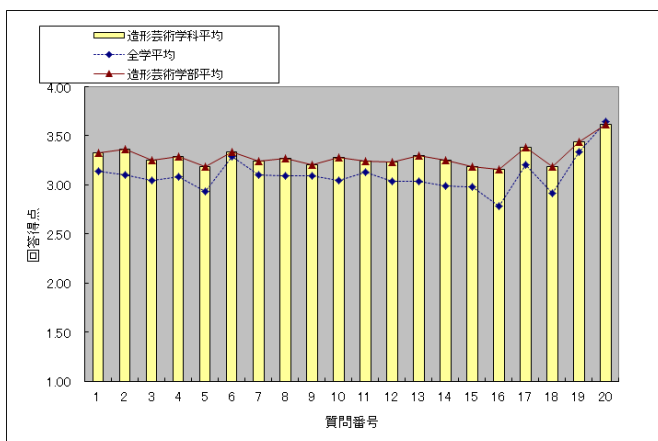
(造形芸術学部長 富田洋美)

造形芸術学部 造形芸術学科による総評

造形芸術学科においては、大学の平均に比較して2010年度に引き続き2011年度も(大学平均3.10に対し造形芸術平均は3.29)平均的に高い満足度を示している。また造形芸術学科単体でも、2010年度(3.28)から2011年度(3.29)と僅かながらも上昇している。各コースの選択自由度の高いカリキュラム構成と、実技科目における教員の日々「手塩にかける教育」の結実をそこに感ずる。

7年前から始まった体験型実践教育「体験実習」もそのような造形芸術学科の特徴的な授業である。データからは読み取れないが、そのような手塩にかけた、ある意味で「熱く、厳しい授業」は、学生の質的变化もあり、敬遠する学生も多くなってきている。旺盛な好奇心や「やる気」は、生きる事への執着、成長にもつながる源泉である。造形芸術学科の教育が続く限り、旺盛な好奇心や「やる気」を培うために、「手塩にかける教育」を学科教員全員で押し進める。26年度改組においては、新「デザイン学科」として生まれ変わるが、今後もそのような学生の生きる力、考える力を大きく成長させるような教育改革を実現するため、新たなカリキュラム作成に取り組んでいる。今にも増して、デザインセンスをもった「企画力」「コミュニケーション力」を培い、社会のあらゆる現場において有用な人材を育てたいと考えている。

【授業アンケート結果 (2011 年度) 造形芸術学部 造形芸術学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
2	5	授業を修得する際シラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分りやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分りやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	用意された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話、送付人変更しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

授業アンケートの 2011 年度結果の概要

全学共通教育委員会 全学共通教育委員長による総評

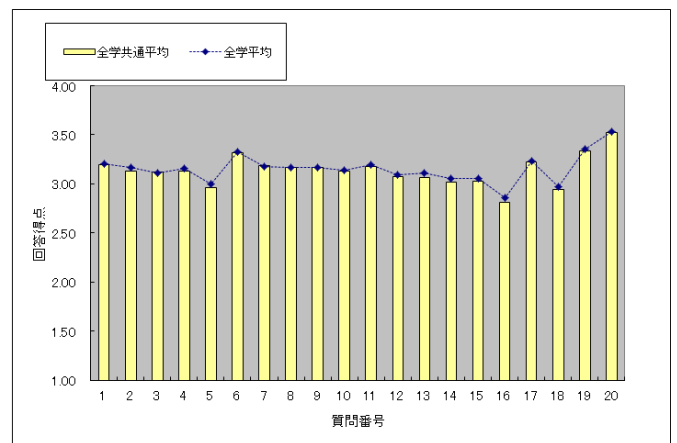
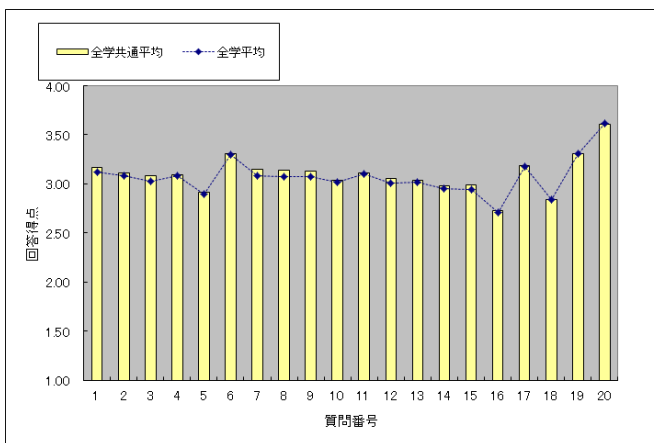
多少のぶれは誤差の範囲内であると考え、2011年度の結果は2010年度とほぼ変わらない。2010年度は日野校と青梅校の全学共通教育委員会が統一された年度であることを考えると、この変化の無さは全学共通科目を受講している学生たちの授業に対する態度が固定化されていることが示され、つまりこのグラフの姿が受講生の全学共通科目に対するイメージということになる。前年度に指摘したことだが、大学全体のグラフの姿は全学共通とほぼ重なり、今年度もやはり同じように重なっているところを見ると、全学共通科目は大学のイメージを決定するものということとは否めない。

細かい分析は前年度とほぼ変わらない。つまり3.0を基準に考えると、「シラバス関連」と「授業外の自主学習」が低い。明星大学生はシラバスを見ずに授業中以外に勉強しない学生が半数はいるということになる。それ故に、「出席率」に関する回答が最も高い数値を出しているところを見ると、授業中に大いに学習しているということになる。勿論これは、アンケート実施時に出席良好の学生のみが回答しているということを示しているに過ぎないと読み取ることもできる。ただ、残念ながら、後期に「出席率」の数値は誤差内だろうが下がる。

明星大学に入学すると学生はこのグラフに示される姿になってしまうと考えられる。この姿を向上させるには教授陣の一層の改善努力が必要となるが、現在のアンケートでは改善努力をしようにもあまりにも抽象的で個々の教員にとって具体性に欠けるように思われる。授業アンケートそのものの改善が望まれる。

(全学共通教育委員長 丸山正義)

【授業アンケート結果 (2011 年度) 全学共通平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	提供された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としての知識や技能などが得られましたか。
3	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	授業に際し、シラバスを参照しましたか。
4	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話、途中入室など)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。